

前橋市公立保育所の再整備基本方針素案に関するパブリックコメント（意見募集）
の実施結果について

子育て施設課

1 意見募集期間

令和4年12月12日（月）から令和5年1月16日（月）まで

2 意見提出者数

3人、3件

3 意見及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。

番号	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方
1	<p>統廃合で数を減らし効率的にする流れは必要なことだが、多様な子育て環境に対応していくために小規模、多機能化が求められると感じている。施設ごとに特徴を活かし、利用者の選択肢の幅を広げておくためにも、まずは現状の利用人数に応じて、柔軟に定員の変更を行い、施設運営の適正化を図った上で統廃合等の整備検討を行うことが適当ではないか。</p>	<p>公立保育所の再整備については、今後の未就学児童数や保育ニーズの推移、公立保育所としての役割、地域性、施設の老朽化状況等を考慮し、その具体化に向けた検討を進めることとしています。</p> <p>来年度に実施する保育ニーズ調査により、地域ごとの保育ニーズの把握を行う予定であることから、その結果を踏まえて策定する次期の前橋市子ども・子育て支援事業計画との整合性を図りながら、再整備の検討を行っていくものと考えています。</p>
2	<p>私立保育園、認定こども園（以下「私立」という。）にとっては、公立保育所（以下「公立」という。）が統廃合され需給調整機能を果たすのはありがたいことだが「地域の子育て支援の核」「セーフティネット」の役割は、地域によっては私立が積極的にその役割を果たしている場合もある。私立がその役割を担い、地域に必要とされる施設として生き残っていくという視点も必要である。公立と</p>	<p>公立保育所の再整備基本方針の「1 前橋市公立保育所のあり方の検討について」（1 ページ）で記載しているとおり、本基本方針は、「今後の少子化の進捗と施設の老朽化の状況を踏まえた公立保育所のあり方」に焦点を絞り、公立保育所の統廃合等について中長期的な基本方針を示すこととしています。</p> <p>そのため、本基本方針では、公立保育所の役割として記載してありますが、地</p>

	<p>私立を分けて考えるだけでなく地域の子育て家庭を支えるために総合的な視点から住み分けをしたり、協働したりという考え方も必要である。</p>	<p>域における子育て支援の核やセーフティネットの役割など、地域の子育て支援の拠点としての役割は、当然に、公立保育所と私立保育園、認定こども園とが連携して果たしていくものと考えます。</p>
3	<p>清里保育所に0歳児の預かりをしてほしい。清里も高齢化が進み、農業経営が厳しい祖父母に頼れずに、若い夫婦ともに働くために、他所へ居を構える状況がある。しかし、清里は、もともと広い田園地帯、環境的には素晴らしく、便利な場所である。子育てに関する魅力的な設備の整った施設の施策として、ここに道路環境も整った広々とした子供の施設ができることを望む。市民としてできる協力はするので、前橋や群馬の人口増のためにも、モデル地域となるような施設と教育理念と方針を切望する。</p>	<p>公立保育所の再整備については、地区ごとに保育ニーズや近隣の保育関係施設の定員の充足状況を勘案し、事業計画等との整合を図りながら、施設の老朽化、周辺における代替地の確保等の状況を確認した上で、公立保育所を再編成することとしています。</p> <p>また、再編成後に存続する施設においては、各地区の保育ニーズに応じた0歳児等の受入れ枠の拡充や医療的ケア児の受入れなどに必要な施設整備等を実施し、地域の子育て支援拠点及びセーフティネットとしての役割を担うものいたします。</p> <p>なお、清里地区を含む西部地区については、現状では3歳未満児の受け皿が不足しており、また、清里保育所は公立保育所で唯一3歳未満児を受け入れていないことから、令和6年度からの受入開始に向けて準備を進める予定です。</p>

※とりまとめの都合上、意見等の内容は適宜要約しています。